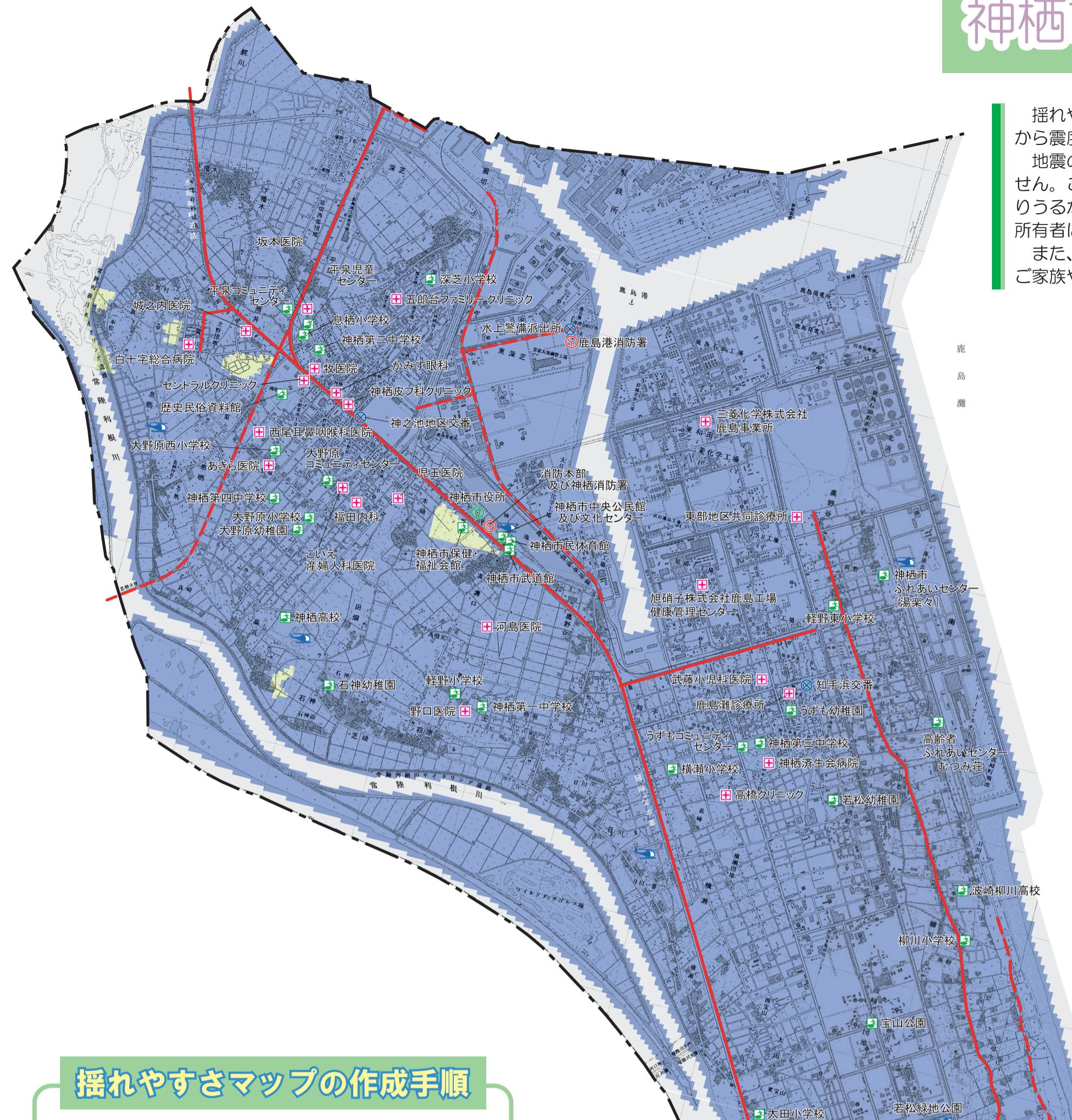


# 神栖市揺れやすさマップとは



揺れやすさマップとは、想定した地震の震源、マグニチュード、地盤状況等から震度の予測結果を表示したものです。

地震の震源は仮想のもので、このとおり地震が起こるというわけではありません。このような地震が発生した場合にご自宅周辺ではどの程度の揺れが起これうかを知っていただくことで、市民の方の防災意識の向上を促し、建築物所有者に耐震診断や耐震改修に取り組んでいただくことを目指しています。

また、地震に備えて避難場所を確認したり、地震が発生した時の対応などを家族や周囲の方と話し合っておきましょう。

## 想定した地震

想定した地震は「茨城県南部地震」と「塩屋崎沖地震」の2ケースを想定しています。



茨城県南部地震	マグニチュード7.3
フィリピン海プレート上面に発生する地震	
塩屋崎沖地震	マグニチュード7.8
昭和13年11月5日に発生した地震の再来	

## 揺れやすさマップの作成手順

①神栖市に大きな影響を与えることが想定される地震を選び、震源や規模などを設定します。

②それぞれの地震について地盤の揺れやすさや地震の位置、大きさを加味して震度（揺れ）を予測しています。



塩屋崎沖地震

茨城県南部地震

震度 5弱 震度 6弱 震度 7  
震度 5強 震度 6強

③2つの地震による震度の予測結果のうち、約50m四方に分割した区画ごとに最大となる震度を表示したものが揺れやすさマップです。

## 凡例

- 避難場所
- 医療機関
- 消防署
- 交番・駐在所
- 市役所
- ヘリコプター発着所
- 第1次緊急輸送道路
- 第2次緊急輸送道路

震度階級	凡例	計測震度計による震度	人間	屋内の状況	屋外の状況
震度5弱		4.5~4.9	大半の人々が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れことがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
震度5強		5.0~5.4	大半の人々が、物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
震度6弱		5.5~5.9	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
震度6強		6.0~6.4	立っていることができず、はかないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くことができず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
震度7		6.5~		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛び出しあることもある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。

